

町の生活情報紙  
— IIDE PUBLIC RELATIONS —

# 広報いいで

7

8, July  
2010  
Vol.1000

マイ・ハウス

レポート◎空き家にさせない！



今月の表紙は、黒沢地区の荻原さん親子。左から荻原弘幸さん、杏樹ちゃん、みどりさん。6ページで家族のお話を詳しくお伝えしています。どうぞご覧ください。



6月19日の夜、農家レストランエルベの庭園を会場に「100万人のキャンドルナイト 2010 in いいで」が行われた。これは、家庭や団体、企業などが参加し、夏至の日の近日に全国一斉に行うエコキャンペーン。

この日のために中部地区と西部地区の有志の協力を得て、廃食油からエコキャンドルを制作。庭園に並べられた約600個のキャンドルに炎がともると、あたりは幻想的な雰囲気に入れ、レストランのお客様の目を楽しませた。また、本の読み聞かせ、紙工作、伊藤信子さん（岩倉）による『昔語り』なども行われ、町内外から参加した子どもたちや親子連れは、キャンドルの明かりの中で、「エコの夜」を楽しんだ。

## 環境に思いを馳せた夜

100万人のキャンドルナイト in いいで

19.June.2010

# 目次 7

広報いいで  
Contents

2010

- 03 リポート◎空き家にさせない！マイ・ハウス
- 08 飯豊町の主な定住対策・子育て支援施策
- 10 まちかどNEWS  
やまがた森の感謝祭2010／第22回いいで黒べこ祭り／  
夢きらら元気っ子広場「ポッキーマサショー」ほか
- 12 飯豊町消防操法大会 ～情熱は火点に命中～
- 14 健全な地域医療を目指して  
公立置賜総合病院 救命救急センター

- 16 直伝おふくろの味
- 17 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 18 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 19 松山清次さん・山形県防犯協会連合会防犯功労者表彰／  
手塚新藏さん・山形県地区衛生連合会長表彰ほか
- 20 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 22 どんでん平ゆり園 ～新しいガーデン・スタイル  
花や植物の楽しみを伝えたい～
- 24 未来につなぐ～いいでの美しさをいつまでも～

※表紙「今月の親子」の紹介は6ページをご覧ください。

## マイ・ハウス



中津川の宇津沢地区にある明治時代に建てられたかやぶき民家。空き家になった後は、コンサート会場など多目的施設として再利用されている

町内で空き家が増えています。倒壊寸前までに放置された危険家屋は、地域にとって深刻な問題です。空き家を増やさないためにできることはなんですか？ 空き家になった場合、どうすればいいのでしょうか？

町内の空き家の現状と課題についてレポートします。

空き家にしないための  
ヒントを探る——。

*Live in Tide Town*

空き家が急増している。平成15年度に行った町の調査では、町内に約110戸の無人の家や作業所などがあることを確認した。高齢社会の中、さらに戸数は増えているものと想定できる。空き家になる事情は様々だが、多くの場合、ひっそりと発生する。情報は部落長等を通じて町に入るが、そうでない場合は、無人に気づかないままである。年に一度だけ、先祖供養のために所有者が帰ってくることもある。行政が空き家の実態を把握することは、地域の方の情報なしではとても困難なのだ。

人が住まない家屋は、急速に老朽化の一途をたどる。やがて危険家屋として放置されることに。残された周辺住民にとっては深刻な問題となる。倒壊の危険、子どもたちへの悪影響（危険な遊び場）、景観の阻害、火災の心配など懸念すべきことは多い。

例年、各地区で問題になるのは、豪雪時や台風時期などの管理である。道路への落雪や倒壊防止の対策だ。空き家の一軒一軒で事情が異なるから、対応策も異なる。部落長等や近所の方、町が奔走し、個別に対応しているのが現状だ。多くの場合、所有者や管理者、または血縁者に連絡をとって除雪などの安全管理をお願いする。連絡



## 今、空き家が地域の安全と景観に重くのしかかる

こちらの空き家は外壁や柱が崩れ、中が見えるほどに。台所とおぼしきところには、洗ひ物の食器がそのまま残されていた。

を取れない場合、地域によっては、その住民の良心で作業を行い、安全を守っているところもある。

危険な家屋といえども、町が直接にその解体をすることは難しい。一つ目の理由は、個人の資産であること。所有者・管理者の管理責任を十分追及しないでは不公平だ。二つ目は、解体処理には多額の費用を要すること。建物の大きさや中の家財道具の有無にもよるが、100万円以上の費用がかかることはめずらしくない。経済的能力を持ちながらも個人の無責任さから発生した家屋に対し、税金を投じてよいのかという疑問が残る。

今の段階では、空き家を未然に防ぐには、個人の良心に頼るところが大きい。高齢者世帯の場合、早くから財産の管理や相続を考慮しておくことが大切とされている。愛着のある家だからこそ、将来のことをしっかりと考えておきたいものである。

町では空き家を定住対策につなげようという「空き家等情報活用制度」(7ページ)を実施している。所有者のみならず、地域の皆さんの情報によって、空き家が人の住む家に戻る可能性が高まる。ぜひ活用し、地域再生につなげたい。

## 町の観光地、中津川にも…

町外から多くの観光客が集まる中津川地区。崩れ落ちた空き家が存在し、地域にとって厄介な存在となっている。

飯豊山が真正面に見える県道沿いにその空き家はあり、山村の美しい景観を損なう。

近隣の住民の方は語る。

「もはやタヌキなどの獣のすみか。それどころか中津川を訪れた人たちが、この家を見てどう思うか。美しいこの村にとってかなりのイメージダウンだ…」と肩をすくめる。

町の重要な観光地に、空き家は大きな影を落としている。



多くの人から愛される白川湖と飯豊山。風光明媚な中津川地区でも放置された空き家が、厄介な存在となっている



地域の声 | interview

萩生地区協議会長  
嘉藤 幹夫さん

地域の皆さんの協力で、安全を守っている。  
しかし、いつまでこの状態が続くのか…。

私の住む部落だけでも、管理されていない空き家が3軒ほどあると認識しています。そのうちの1軒は20年以上放置されたままで、もはや傾倒寸前の状態です。

問題は、町道に隣接していること。万が一、倒壊して、たまたまそこを通りかかった歩行者や自動車などが巻きこまれないかと、懸念しているところです。雪の多い冬には、部落

の役員の皆さんの協力を得て、除雪作業を行っています。実は過去に同じ敷地内の小屋が崩壊し、やはり役員の方々に汗を流してもらい、片付けと処分をしたこともありました。地域の皆さんには本当に感謝しています。

しかし、この状態がいつまで続くかと思うと気が気でなく、日々監視を続けているところです。

一度、町に相談したのですが「個人の責任があるものについて、行政が費用負担し処理をするのは難しい」との回答でした。処分するには多額の費用がかかりますから、地域だけで解決できる問題でもありません。止む得ない事情があったにせよ、空き家を放置すれば、その地区の住民だけが迷惑をこうむるということを、身をもって感じています。

CASE 1 | 危険な空き家



屋根は原形を失い、トタンはすっかりはがれている。数年前、この屋根のトタンの一部が飛び、付近に駐車していた車に落ち、損害を与えた事故が発生している。もし人だったら…。現在は、危険防止の養生が施されている。

危険な空き家 | CASE 2



すっかり雪に覆われた空き家。もし所有者が除雪のできない健康状態であったり、所在不明な場合は、血縁者に危険を知らせ除雪をお願いすることになる。雪の重みに押しつぶされながら家は、確実に老朽化を早めることになる。

行政の立場 | interview

倒壊の危険性のある空き家は、地域の安全や環境など多くの面で悪影響を及ぼしています。町民の皆さんから通報・相談のあったものについては、速やかに現場にかけつけ、最



町住民税務課生活環境室  
手塚 幸一 室長

個人の財産である以上、その責任が優先  
危険家屋は、所有者を探すことから始まる

善の解決方法を検討してきました。空き家には問題を抱えているものが大半で、所有者が町を離れて遠方に住んでいたり、消息不明であることもまれではありません。経済的困窮で解体処理の費用が負担できなかったり、相続が未整理で責任の所在があいまいな場合もあります。

空き家といえども、敷地や建築物には所有者・管理者がいます。資産はあくまでも個人に帰属し、行政が勝手に処分することはできません。できることは、建築基準法に定めら

れた管理者の維持保全の義務を盾に、改善措置を厳格に勧告していく以外にありません。空き家の解体処理には相当な経費を要します。中には経済的能力があっても個人の無責任さで放置しているものもあります。そういったものに対し、血税を投じることは、善処とは言えません。

急速に空き家は増加しています。町だけではなく、県や地域など関係者が一体となって未然に空き家を防ぐ対策を講じていかなければならないと考えています。



## 住む人がいるから家は輝く。 町内の「空き家」を購入した 幸せいっぱいのか萩原さん家族。

弘幸さんが日曜大工で作ったというバーベキューテーブルを囲んで会話を楽しむ萩原さん一家。  
「飯豊町に住んだおかげで子どもができたのかもしれない」と笑顔で話してくださった。

### 購入者の声 | reportage

黒 沢 在 住  
おぎ はら ひろ ゆき  
萩原弘幸さん  
みどりさん  
あず き  
杏樹ちゃん

購入を決めたいきさつや  
生活の様子などを伺った

さゆり保育園に通う杏樹ちゃん  
は5歳。元気いっぱい遊び盛り。  
「子どもと遊ぶには最適なんです  
が、敷地が広すぎて手に余って  
います」と萩原弘幸さんは苦笑い  
する。この辺りでは普通の広さで  
も、約86坪の土地は、東京都出身  
の弘幸さんには広く感じる。土地  
つきの空き家を購入したのは、平  
成16年のこと。杏樹ちゃんの誕生  
を機に、手狭になったアパートを  
出ることに決めた。

「飯豊町ですつと農業を続けて  
いこうと決めていましたし、子ど  
もを授かったのは、この土地の穏  
やかな時間と自然豊かな環境のお  
かげだと。だから、家は町内だけ  
を探していました」。

弘幸さんは妻のみどりさんと共  
に農業を営む。萩生地区のハウス  
でトマトを生産し、今年からはア  
スパラガスの栽培も始めた。平成  
14年に東京から飯豊町に引っ越し

て丸8年。もともと、弘幸さんは  
西東京市の家業の電気店で働いて  
いた。農業をやりたいという熱意  
で閉店を決めた。みどりさんは元  
銀行員。「夫の表情は真剣だった」  
と、みどりさんは反対しなかった。

「東京で新規就農者募集の説明  
会があり、そこで聞いた町の支援  
策がとても充実していたので、飯  
豊町に決めました」と弘幸さんは  
振り返る。温暖なところよりも寒  
い地域の方がおいしい野菜を作れ  
ると聞き、雪への覚悟はできてい  
た。移住にあたり、町の「いいで  
すね条例」や新規就農者支援の助  
成金をフルに活用。「とてもあり  
がたかった」という。

「飯豊町に来て感動したことは、  
空にかかる虹が端から端まで見え  
たこと。都会では絶対に見られな  
い」とみどりさんはほほ笑む。

購入した空き家は、築19年の物  
件。新聞の折り込み広告で見つけ  
た。所有者は町外に住み、年に一  
二回、お盆や法事で、お仏壇に手  
を合わせに来る程度だった。しか  
し、空気の入替えをしつかりし  
てくれていて、中の状態は良かつ  
た。仕事場のハウスと出荷する市  
場との中間点という立地が決め手  
となり、購入を決めた。アパート  
の家賃よりも家のローンの支払い  
の方が安いこともわかった。



## 飯豊町空き家等 情報活用制度

売りたい、貸したい。  
飯豊に住みたい人のために  
情報をお待ちしています。

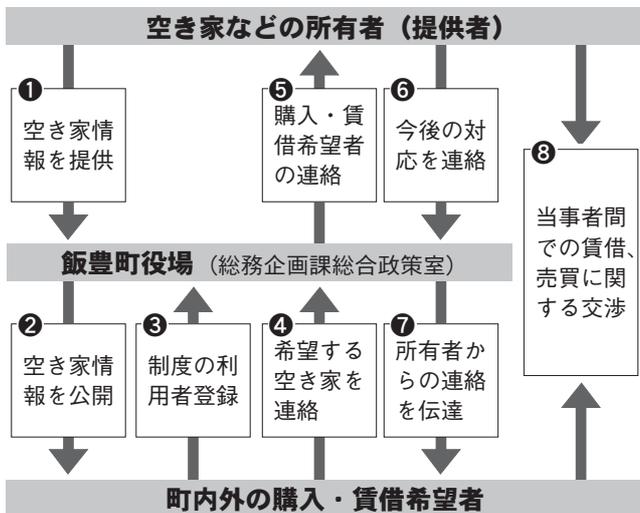
町では、空き家の有効活用と定住促進を目的に空き家等情報活用制度を行っています。

「空き家を売りたい・貸したい人」と「町内に住みたい方」との橋渡しを、町が行います。所有者（提供者）の方からいただいた物件の情報は、町のホームページにアップして全国に発信します。それを見て、空き家を利用したい希望者があれば、所有者の方に紹介する仕組みです。

物件は、空き家のほか、空き店舗・工場、空き地でもかまいません。ぜひ情報をお寄せください！

◆問合せ先／役場総務企画課総合政策室  
☎72-2111内線227・228

### 【制度の仕組み】



町のホームページのトップページ

キーワード検索  検索

「所有者の方が親切に説明してくれて、使える家具があればと、置いていってもくれました。所有者の手柄がわかれば、住む方は安心できます」とみどりさんは話す。家屋の手直しのほとんどは、日曜大工が趣味という弘幸さんが、みどりさんのお父さんに手伝ってもらいながら自らこなした。壁紙の張替えや屋根のペンキ塗りなど、あまりお金をかけずに済んだという。汲み取り式だったトイレは、町の補助事業を使い水洗トイレに付け替えた。

家を購入して良かったことは、「地域とのつながりができたこと」だと弘幸さんは言い切る。アパートに住んでいたころは、地域との接点はほとんどなかった。家の下見に来たとき、二人は近くで腰を下ろしていたおばあちゃんに「この辺はどういうところですか」と尋ねた。「いい人ばかりだよ」と笑顔が返ってきた。その言葉は本当だったと、二人は今感じている。地域の人たちは、温かく萩原さん家族を迎え入れてくれた。

「『食べてみて』なんて、野菜や料理などを差し入れてください」家を購入して良かったことは、その子どものように気遣ってくださって、子どもを育てる環境にはとてもいい所だと実感しています」とみどりさんは近所の人たちに感謝する。また、弘幸さんも「この辺で怪しいセールスマンが回っているから気をつけてな」とわざわざ近所の方が知らせに来てくれて、あらためて地域の結束の大切さを感じたという。

二人は、地域の行事などを通じ、多くの人と出会えたことを喜ぶ。これも一軒家に住んだことに端を発する。生活に不便は感じていない。冬の雪片付けにも慣れてきた。子どもの成長が今の一番の楽しみ。家族の目標は、この幸せな生活を健康ですっと長く続けていくこと。もし町を離れることがあっても、所有する限り、家を大切に管理していきたい。萩原さん家族のように飯豊町に住みたいという人のために。住む人がいて家は輝き、地域のにぎわいを生み出す原点となる。萩原さん親子が見た空の虹のように、あなたの家が地域と新しく来る人の架け橋になるかもしれない。

豊かな自然と美しい景観に恵まれた飯豊町。

町では、活力のある町の担い手を育成し、地域の活性化を図りながら、

より一層「住んでみたい!」、「住んでよかった!」と言われる

住みよい生活環境づくりを進めていきます。

そのための重要施策である定住対策や子育て支援事業の一部を紹介します。

ぜひ、町外で暮らす親族や知人の方などにもご紹介いただき、

町の制度をご活用ください。

結婚・子育てを応援!

### すこやか出産祝★



町内にお住まいの方が出産した場合、祝品や祝金を贈呈します。第1子は商品券3万円、第2子は商品券5万円、第3子以降は祝金17万円を贈呈します。

◆担当/役場総務企画課総合政策室  
☎72-2111内線227・228 TOWN

結婚・子育てを応援!

### めざみっ子入学祝★



町内にお住まいで、小学1年生、中学1年生のお子さんを持つ保護者の方に祝品として商品券1万円を贈呈します。

◆担当/役場総務企画課総合政策室  
☎72-2111内線227・228 TOWN

結婚・子育てを応援!

### 幼稚園・児童センター保育料の軽減



入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第3子以降の場合、保育料を無料とします。幼稚園などへの複数人の同時入所の場合、2人目から2,500円を減免します。

◆担当/役場教育文化課子育て支援室  
☎72-2111内線163・167 TOWN

結婚・子育てを応援!

### 奨学資金貸与



健康にして優秀な生徒で経済的理由により修学困難な方に対し、学資金の貸与を行います。限度額(月額)/大学30,000円、短大25,000円、高校20,000円

◆担当/役場教育文化課学校教育振興室  
☎72-2111内線164・166 TOWN

結婚・子育てを応援!

### ときめき結婚祝★



町内にお住まいの方が結婚した場合、1組につき祝品として商品券3万円を贈呈します。

◆担当/役場総務企画課総合政策室  
☎72-2111内線227・228 TOWN

結婚・子育てを応援!

### 保育園保育料の軽減



入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第3子以降の場合、保育料を無料化します。保育園への複数人の同時入所の場合、2人目を1/3の額とします。

◆担当/役場教育文化課子育て支援室  
☎72-2111内線163・167 TOWN

結婚・子育てを応援!

### 子育て支援医療(中学生まで医療費無料)



今年7月から対象年齢を拡大し、町内に住む中学3年生までの子どもについては、医療費(外来・調剤・入院・訪問看護)が無料です。また入院時の食事代も給付されます。

◆担当/役場住民税務課住民室  
☎72-2111内線122・124 TOWN

各事業の詳細は、各担当室にお問い合わせください。

また、ここに紹介したものは、ほんの一例です。

そのほかに皆さんの暮らしに役立つ事業が

たくさんありますので、

町のホームページをご覧ください。

町のホームページのトップページ

キーワード検索  検索



# 飯豊町の主な定住対策 子育て支援施策

飯豊で結婚！飯豊で子育て！

## 住まいを応援！

### 木材製品利用住宅建築奨励助成金交付事業

町内の建築業者により新築または増改築される住宅で、町・県内産木材を全部または一部使用し、経費が30万円を超えるものであることなどの要件を満たすものに、経費の1/2の額、50万円を限度に助成します。

◆担当／役場産業振興課農林整備室  
☎72-2111内線270・271 TOWN

## 住まいを応援！

### 県産認証材利用助成金交付事業



町内に「やまがたの木」認証材を5㎡以上使用し、新築または増改築される住宅に、30万円を限度に助成します。

◆担当／役場産業振興課農林整備室  
☎72-2111内線270・271 TOWN

## 住まいを応援！

### 住宅取得奨励(U・Iターン者)★



町外から転入し、町内に定住する意思を有する方が住宅を新築または購入した場合、30万円を限度に奨励金を贈呈します。(要件あり)

◆担当／役場総務企画課総合政策室  
☎72-2111内線227・228 TOWN

## 住まいを応援！

### 住宅取得奨励★



町内に居住し、定住の意思を有する方が、住宅を新築または購入した場合、10万円を限度に奨励金を贈呈します。(要件あり)

◆担当／役場総務企画課総合政策室  
☎72-2111内線227・228 TOWN

## 住まいを応援！

### 住宅取得奨励(町内建築業者施工)★



住宅を新築する際、町内建築業者が施工した場合、10万円を限度に奨励金を贈呈します。(要件あり)

◆担当／役場総務企画課総合政策室  
☎72-2111内線227・228 TOWN

## 暮らしを応援！

### ペレットストーブ導入促進事業



6年間以上使用可能な方に、ペレットストーブ設置に要する経費(本体、煙突などの付属品、取付け費用など)の1/2または20万円を限度に助成します。

◆担当／役場産業振興課農林整備室  
☎72-2111内線270・271・272VN

## 暮らしを応援！

### 運転免許自主返納支援事業

交通安全対策の一環として、運転免許証を自主返納した方に対し、ほほえみカー(デマンド交通)の利用券(400円券を10枚)を交付します。さらに公的な身分証明書となる住基カードの交付手数料の免除も行います。

◆担当／役場住民税務課生活環境室  
☎72-2111内線131・132・133VN

## 働く皆さんを応援！

### 新規就農定着促進事業

新規就農者に対し、住宅家賃の年間自己負担額の1/2または24万円のいずれか低い額を限度に家賃への助成や園芸ハウスなどの施設取得費に対し1%以内で助成します(いずれも3年以内)。また農地賃借料の一部を助成します。

◆担当／役場産業振興課農地管理室  
☎72-2111内線265・267 TOWN

まちかどニュースは、皆さんの広場です。  
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。  
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



やまがた森の感謝祭2010

## 源流の森で盛大に開催

6月5日、山形県源流の森で、「やまがた森の感謝祭2010」が開かれました。会場には、木質ペレットなど森林資源を生かした特産物の展示や工作体験ブースなどが設けられ、多くのお客様にぎわいました。式典では、吉村美栄子県知事が、「やまがた絆の森づくり」事業のスタートを宣言。さらに関係者や一般参加の人たちによって広葉樹など1050本が記念植樹されたほか、町主催のフォーラムも開かれ、あらためて森の大切さを知る機会となりました。



夢きらら元気っ子広場「ポッキーマサショー」

## パフォーマンスに大歓声



6月8日、町民総合センター「あ〜す」で、こどもみらい館が毎年企画する「夢きらら元気っ子広場」が開かれました。今年も、大道芸人のポッキーマサさんが登場。風船アートや手品など、次々と繰り広げるパフォーマンスに、町内幼児施設などから集まった約240人の子どもたちは大歓声。最後は風船約200個が会場の上から降ってきて、子どもたちはさらに大興奮。楽しいひと時を過ごしました。

第22回いいで黒べこ祭り

## 生まれも育ちも飯豊の牛



6月20日、どんでん平ゆり園で、いいで黒べこ祭りが開かれました。町内外から約600人のお客様が来場。今年の牛肉は、梅津名七さん(椿)が子牛を生産し、さらに堀敬二さん(菽生)が肥育した、生まれも育ちも飯豊町という黒毛和牛。もちろん肉質は、米沢市食肉市場で最高級に格付けされたものです。参加者は炭火で焼いた肉を「柔らかくておいしい。ブランド牛は違うね」とうれしそうにほお張っていました。



## いいでフォトクラブ作品展示

## 役場にフォトギャラリー誕生

6月14日から、役場1階と2階の談話室には、いいでフォトクラブ(齋藤徹会長・松原)による作品が展示されています。会員21名の写真約40点が飾られ、訪れるお客様の目を楽しませています。談話室は、お客様が気軽に休憩し、会話などを楽しむスペースとして4月から役場に設けられたもので、同クラブより「雰囲気作りに役立てて欲しい」との提案があり、作品展示が実現したものです。常設展示として作品は、入れ替わっていきますので、どうぞお立ち寄りください。

## トレーニング器具の使い方講習会

## 上手に活用しよう！スポセン



6月24日、にぎわい再現プロジェクト委員会企画の「トレーニング器具の使い方講習会」が町民スポーツセンターで行われました。町健康福祉課「健康づくり事業」、いいで総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会との連携第2弾。講師には、鹿俣体育研究所の鹿俣由美・修先生を迎え、約20名が参加。町民スポーツセンターにあるトレーニング器具の正しい使い方と効果的なトレーニング方法などを学びました。

## 中津川地区でロックバンド「MSG」コンサート

## 農業用ハウスで音楽ライブ



6月8日、中津川地区の伊藤和憲さん所有する農業用ハウスを使い、ロックバンド「MSG」のコンサートが開かれました。MSGのメンバーには、歌手の柳ジョージさんのバック・バンドのメンバーも含まれています。この日は、オリジナル曲を10曲演奏。伊藤さんは、「7月24日のSNOWえっぐフェスティバルでも演奏してもらう予定です。ぜひ多くの皆さんに聴きにきて欲しいです」と話してくださいました。



6/26

子育て研修会「親子でヒップホップダンス」(あ～す)



6/20

フェット・ドラ・ミュージック(どんでん平ゆり園)



6/2

飯豊ライオンズクラブ1万人献血運動(役場)

## 高いレベルで僅差の争い

六月二十七日、町民総合センター「あす」駐車場で開かれた、町消防操法大会が開催された。

競技は、小型ポンプの部と小型ポンプ積載車の部、さらに今年度からポンプ車の部が加わり、三種目となった。合わせて十チームが出場。互いの操法技術を競い合った。

大会の目的は、消防活動を円滑に行えるようポンプ操作から放水までの一連の技術を高めること。またそれを通じ、団員の連携と志気の高揚を図る。大会で求められる技術の習得は、実際の火災現場で大きな力となる。

出場チームは大会に向け、消防署飯豊分署職員からの指導を受けながら技術を研鑽してきた。練習時間は、仕事前の早朝や仕事帰りの夜に限られ、寝食を惜しまず練習に励んできた。

大会当日、天気はいよいよの雨模様。路面は滑りやすく良好な状態とはいえなかった。それでも選手たちは練習の成果を出し切ることだけを考え、競技に臨んだ。玉の汗をかき、息を切らしながら、一糸乱れない連携と迅速さで、見事な操法技術を披露。会場を大いに沸かせた。大会は僅差の争いとなり、同



# 飯豊町消防操法大会

2010.6.27 / 町民総合センター「あす」

# 情熱は 火点には 命中!



①第3分団第3部第1班の指揮者・岩瀬也寸宏さんの堂々の選手宣誓で大会は幕を開けた ②選手の気合は大きな声となり、会場に響く。第5分団第1部第1班 ③選手の動作一つひとつに日ごろの練習が伺える。第4分団第3部第1班 ④チームワークがスピードを生み出し、結果につながる。第1分団第3部第2班





## WINNER'S INTER VIEW

### 小型ポンプの部優勝

#### 第3分団第2部第2班

指揮者／横山信弘さん  
 1番員／井上博人さん  
 2番員／横山清人さん  
 3番員／遠藤 証さん  
 補助員／伊藤友祥さん



#### チームワークの勝利

班員が力を合わせチームワークのとれた操法ができたことが勝因だと思います。指導くださった先輩や消防署職員の皆さんに感謝いたします。町大会は一つの通過点。西置賜支部大会でも全力で上位を狙います。(指揮者・横山信弘さん談話/写真前列中央)



### 小型ポンプ積載車の部優勝

#### 第4分団第3部第1班

指揮者／安部一博さん  
 1番員／細谷光宏さん  
 2番員／青木健裕さん  
 3番員／横山陽平さん  
 4番員／菊地正文さん  
 補助員／安部 悟さん

#### 明日から気持ちを切り替えて支部大会へ臨む

去年から練習を積んできましたので、優勝できて、正直ほっとしました。班員が一丸となつてがんばれたことが結果につながったと思います。明日から気持ちを切り替え、西置賜支部大会に臨みます。(指揮者・安部一博さん談話/写真前列中央)

### ポンプ車の部優勝

#### 第4分団第1部第1班

指揮者／五十嵐政紀さん  
 1番員／田辺友和さん  
 2番員／尾形弘嗣さん  
 3番員／井上雅俊さん  
 4番員／工島 剛さん  
 補助員／竹田直人さん



#### 初めてのポンプ車出場、飯豊の実力を証明したい

初めてのポンプ車での競技で準備も練習もかなり大変でしたが、結果を出せてうれしく思います。西置賜支部大会では新参者ですので、挑戦者としてひるまず大会へ臨み、飯豊の実力を証明します。(指揮者・五十嵐政紀さん談話/写真前列右から2人目)

点ながらタイム差で順位を落としたチームも。  
 見事、小型ポンプの部で優勝・準優勝となった二チームと小型ポンプ積載車、ポンプ車の部の優勝チームは、七月十一日、西置賜消防本部訓練場(長井市)で開催される消防操法大会(西置賜支部大会)に出場する。



## THE RESULTS

### ◆飯豊町消防操法大会結果

#### 【小型ポンプの部】

優勝／第3分団第2部第2班 (昭和)

準優勝／第4分団第2部第2班 (萩)

第3位／第2分団第4部第2班 (下樺・諏訪)

#### 【小型ポンプ積載車の部】

優勝／第4分団第3部第1班

(十文字・野山)

準優勝／第1分団第3部第2班 (酒町・中北)

#### 【小型ポンプ積載車の部】

優勝／第4分団第1部第1班

(八幡・町中・落合)



## 公立置賜総合病院 救命救急センター

「明日から旅行へ行くのですが、子どもが熱を出してしまつて……。三日分の薬をもらえませんか」。真夜中に、公立置賜総合病院救命救急センターにかかつてきた一本の電話は、若い女性からのものだった。

「病院である以上、病气やけがに苦しむ患者さんを拒むことはできない。しかし、救命救急センターの本来的目的を考えたとき、なんでもありというわけにはいかないのです」と岩谷昭美センター長は戸惑いを隠せない。

本来の目的とは、生命に直接危険を及ぼす患者に対し、最大限の救命医療を施すこと。交通事故での負傷者や心臓発作で倒れた人など、直ちに治療が必要な人たちへの救命が使命となる。しかし、今、救命救急センターは、年間延べ二万人を超える患者の利用により、本来の診療に支障をきたすことが危惧されている。

問題は、患者の約85%が生命に直接的な危険がなく、診療後に帰宅できる一次救急患者がほとんどという実態だ。もちろん一次救急患者の中にも緊急を要するケースは多数ある。だがそうでない場合、診療数の増加は、医師の過重労働につながる。深夜に及ぶ診察は、医師が十分な睡眠をとれないまま、翌日の診療を強いる。医師が疲弊したとき、それは地域医療の中核をなす公立置賜総合病院の根幹を揺るがすことになる。

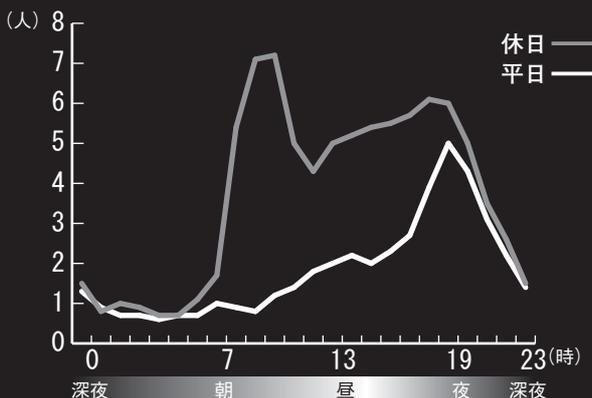
本町には、夜間と休日に診療できる医療機関をもたない。また、地理的な条件から、公立置賜総合病院の利便性は高い。そのような環境から夜間と休日の診療で救命救急センターを頼らざるを得ない現状がある。

そのような事情を考慮した上でも、救命救急センターの受診のあり方を、あらためて見直す必要はありそうだ。本町に限らず、患者の利用には特徴があり、平日の場合、仕事が終わって帰宅する夕方以降に患者数が集中。逆に休日は、午前中に患者数がピークを迎える。そこには、地域住民が生活に合わせる救命救急センターを利用している実情がうかがえる。

病院では、医師が余裕を持つて高度な医療を提供できるようにと、利用者への呼びかけが続いている。可能な限り、平日は診療所や開業医で受診すること。休日は長井西置賜休日診療所を利用することなどである。これだけでも、救命救急センターにとっては相当の負担軽減となる。

町の国保診療所(棒)でも現在、学校や仕事が終わった後の夕方にも受診ができるようにと、受付時間を18時半まで延長(7月末日まで)している。こちらを積極的に利用したい。救命救急センターの「待ち時間が長い」との苦情を聞く。しかし、病室ではたった今、医療スタッフが瀕死の重症患者に対し、懸命の治療を施していることを忘れてはならない。

### 時間帯ごとの患者数 救命救急センター (平成21年度)



救命救急センターの待合室。命にかかわる重症の患者が運び込まれた場合、医療スタッフは、その治療にあたることに。比較的軽症であれば、待ち時間が長引く場合もある

病院の時間外入口に掲げられた看板。訪れる人に対し救命救急センターが重症の患者を優先することや、開業医・休日診療所での受診を呼びかけている



## 数字で見る診療の実態

救命救急センター（平成21年度）

- ◆ 1年間の総患者数…21,535人
- ◆ 1日平均患者数…59.0人
- ◆ 総患者数のうち1次救急患者…約85%  
1次救急患者とは、入院の必要がなく帰宅可能な患者のこと。風邪など
- ◆ 10歳未満の子どもの患者数…5,003人  
そのうち入院が必要だった患者は、わずか5.6%。

## 現場インタビュー

the front interview



公立置賜総合病院 救命救急センター長

岩谷昭美 医師



Dr. Iwaya Akimi

いわや・あきみ◎救命救急センター長。岩手医科大学卒、医学博士、日本救急医学会専門医

ぎりぎりの数の医療スタッフ。診療は頭から足のつま先まで…。

置賜地域において夜間診療を行っているのは、当院と米沢市立病院など数少ないため、急病の患者さんが当センターに集中して来院します。また救急車での搬送も、一日平均8～9人で、多い日には20人近く運ばれてきます。しかし他地域で問題になっている、忙しい、混雑しているなどの理由でのいわゆる“たらい回し”はせず、すべてを受け入れています。その結果、一人の医師が同時にたくさんの患者を診療せざるを得ない状況も起きています。患者さんの病状は、頭から足のつま先までさまざま、すべての患者にとってはそれぞれが急患です。当セン

ターでは重症患者さんを優先して治療に当たらせていただき、軽症患者さんには応急処置を原則に、薬の処方も1日分を原則とさせていただきます。

住民の皆さんには、救命救急センターの本来の目的は、「生命に危険を及ぼす重症の患者の治療」であることを再認識していただき、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

またこのような状況の下、昨年4月からは、長井市西置賜郡医師会と南陽市東置賜郡医師会の先生方に、当センターの施設を利用していただき「平日夜間協働診療」として応援診療をいただいております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

## 地域医療を守るため、私たちができること



### 子どもの夜間の急病

冷静に対応、電話で相談

TEL ☎  
#8000

子どもの発熱・下痢などの急病の際に、小児科医支援体制の下、専門的な知識と経験を有する看護師が医療機関への受診や家庭での対処方法をアドバイス。家庭での冷静な判断につなげたい。

■相談時間／毎日19時～22時まで

■ダイヤル回線・PHSからは ☎023-633-0299

### 休日中の急病

「休日診療所」で受診

TEL ☎  
84-5799

長井市西置賜郡医師会では「長井西置賜休日診療所」を開設。救命救急センターと比較して、診察までの待ち時間が短く、地域の医師同士の連絡が取れていることなど利点が多い。

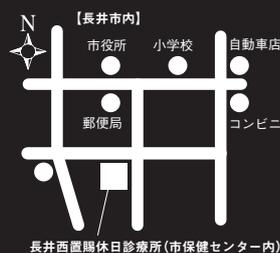
■場所／長井市保健センター内

■診察日／日曜日・祝日・年末年始

■診療受付時間

8:30～11:30、13:00～16:30

※診察には保険証を忘れず持参



長井西置賜休日診療所（市保健センター内）

問合せ先

町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

## 直伝おふくろの味



## サラダ寒天

マヨネーズ風味の新感覚寒天

## 【材料】

- ◇寒天棒 2本
- ◇水 700cc
- ◇マヨネーズ 150g
- ◇砂糖 300g
- ◇ゆで卵 4個
- ◇キュウリ 1/2本
- ◇ニンジン 1/3本
- ◇塩 少々

## 【作り方】

- ①寒天棒は2〜3時間水に浸しておく。
- ②ゆで卵は白身と黄身に分け、みじん切りにする。キュウリ、ニンジンも同じくみじん切りにする。
- ③①を700ccの水で煮立たせ溶かす。
- ④③に砂糖と塩を入れ、溶けたら、ニンジン、ゆで卵を入れ、さつとかき混ぜる。さらに弱火にしてマヨネーズを入れ、さらにかき混ぜる。
- ⑤④を型に流し込み、15分ぐらい置いて冷めたところに、キュウリを入れて、材料が全体にくまなく広がるように5分間おきぐらいいに5回程度かき混ぜる。
- ⑥その後、冷蔵庫に入れ、固まったら出来上がり。



高峰地区  
食生活改善推進員  
伊藤昭子さん

## シャキッとしたりキュウリの歯ごたえがおいしいです

この料理は、会社に勤めていたころ同僚に教わったものです。材料は身近なものばかりでも手軽です。また、サラダ感覚の寒天というのがとても珍しく、夏の季節にもぴったりなので紹介することになりました。

料理のポイントは、ゆで卵、キュウリ、ニンジンができるだけ細かく切ることです。また、キュウリは余計な水分が入らないように、汁を絞ってから入れるとシャキシャキ感が出ます。砂糖の量は好みで調整してください。

野菜は、コーンやほうれん草、レタスなどでも合うと思いますので、いろいろアレンジしてみてください。

この夏、お客様のお茶請けとして、ぜひお試しください。



こどもみらい館の予定表  
(7月・8月の日程) 会場/こどもみらい館

- 7月14日(水) 10:30～ おはなし広場
- 20日(火) 10:30～ あそびの広場
- 23日(金) 10:00～ タッチケア
- 29日(木) 10:30～ かんがるー広場
- 8月3日(木) 10:30～ あそびの広場
- 7日(土) 10:30～ ブックスタート広場



**タッチケア こどもみらい館**  
7月23日(金) 10:30～

赤ちゃんとお母さんのスキンシップを通して、体と心を触れ合わせ、親子の絆を深めます。対象は4カ月からの0歳児。参加申し込みは、7月20日まで。

episode

子育て応援  
kosodate  
ouendan 談

子どもの心に届く言葉を探して  
「“しかる”と“怒る”」

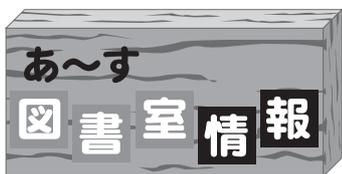
子ども同士の遊びにけんかはつきもの。「おもちゃ、かしてけんこにえ～」の言い争いは、一方が頭を叩けば、一方は胸を突き飛ばして、大騒動に。

大人は、子どもたちを落ち着かせ、ゆっくりと言葉を聴いていきます。「○○ちゃんも使いたかったんだって」「じゃあ、もう少ししたら貸してあげてね」と仲直りさせます。

時にはその仲裁が、「けんかしねで仲良くしんなねよ!」と強い口調になることも。当事者はおびえ、周囲は「ごしゃがちゃ、ごしゃがっちゃ」とはやし立てる始末。

あらためて思うのは、「しかる(何かを伝えること)」と「怒る(感情をぶつけること)」の区別の大切さ。心に余裕を持って、子どもの心に届く話し方と言葉を探していきたいものです。

- 役場教育文化課子育て支援室 TEL72-2111内線163・167
- こどもみらい館 TEL72-3336



今月の  
おすすめ図書



児童図書

「みんなおかえり」

飯森ミホ/作・絵 金の星社

今日もたくさん遊んだね。みんなお家に帰りましょう。ボールさんはお家へ、クレヨンさんはクレヨンさんのお家へ、クマさんはどこへかえるのかな? 「お家」の安心感に心が温くなる絵本。



児童図書

「かぶと四十郎  
夕陽のカブトマンの巻」

宮西達也/作・絵 教育画劇

わがままで暴れん坊のかぶと四十郎は、偉大なかぶと虫侍・三十郎の息子。悪さばかりしていたら、ヘラクレスオオカブトがやってきて…。カブトムシのお江戸大河ロマン。

一般図書

「百姓探訪」

立松和平/著 家の光協会



土と共に生きる技、地域への慈しみ、そして絆。農業と農村にこだわり続けた作家・立松和平が、全国津々浦々の農村で出会った人びとの心模様を丹念につづるルポルタージュ。「家の光」連載を再構成して単行本化。

一般図書

「メモリーを消すまで  
(上・下)」

山田悠介/著 文芸社



犯罪防止のため、全国民の頭に埋め込まれたメモリーチップ。「記憶削除」を執行する組織MOCの相馬誠は、腐敗はびこる所内の権力闘争に巻き込まれていく。実験を掌握しようとする黒宮の真の目的とは?

- 開館時間 午前9時～午後6時(6月～10月)  
※土・日曜日は午前9時～午後5時まで
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 臨時休館日 7月10日(土)・11日(日)
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 TEL72-3111

# ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



シリーズ第1弾：スポーツ少年団

## 西部野球スポーツ少年団

- ◆監督／佐藤利浩さん(手ノ子)
- ◆コーチ／高橋弘一さん(高峰)、  
渡部博一さん(松原)、  
高橋昭広さん(手ノ子)
- ◆団員／12名

●スポーツ少年団入団などのお問い合わせは、町教育委員会内スポーツ少年団事務局まで☎72-3086 (町民スポーツセンター)

◆練習日／毎週土・日曜日(8:30~11:30)

◆練習場所／手ノ子小グラウンド

◆団員募集対象／町内小学生・男女

◆クラブのピーアール

2年生から6年生まで12人の団員でチームをつくる西部野球スポーツ少年団。年齢による体力の差があるからこそ、互いに助け合うチームプレーを大切にしています。明るく素直、でも少しやんちゃな子どもたち。一人ひとりの個性を伸ばすことを監督とコーチは心がけています。一試合一試合、全力で臨み、チームのレベルアップを目指す。それが今年の目標です。



佐藤監督にとって野球とは…

試合は一人では勝てない。  
みんなの力が合わさって  
はじめて勝ちに近づく。

佐藤利浩監督

## 連載 随想

# 町長の目と歩き

15

## 「夢の山水を探す」

後藤 幸平

ひぐらしの鳴く声が岩清水を引き込んだ水槽に沈み込んでいる。水槽の中には冷えたラムネがごろごろと転がっていて、渴ききつたのどを潤そうとゴクゴクつと飲もうとしたところで、ハッと目が覚める。夢か。二日酔いの朝方に見る夢である。そのあとに飲む酔い覚めの水の旨いことは格別だ。

冬、山スキーで汗をかけばのどが渇く。そんな時はこうするんだと幼いころ父に聞いた。ストックに雪を引っ掛ける。そのまま沢水に浸し、引き上げて吸う。汗だくの身体を通る冷たい水の味は超一級だ。

町の水道で使用する水の七割は萩生の山の湧水をひいて利用している。湧水期でも三割は使える。山の湧水で足りないところは白川から汲み上げた水を浄化して通水する。生活様式の進歩や新しい住宅の増加などによって町水道の水源は万全とはいえない。白川の浄水場を拡張整備するか、山の湧水から新たに取水するか、あるいは町外の豊富な水を購入する

方法もあり、いずれかを選択すべき時期にある。水質やコストからすれば当然のことながら山の湧水に軍配が上がる。

そこで、山に詳しい人々の話題になるのは、萩生財産区の谷あい中ヶ沢上流のブナ原生林湧水と、折草の水、大濁り小濁りの水をどうにかできないかという発案である。百聞は一見に如かず、六月十八日、現地調査の実行となった。萩生地区協議会、町議会、町の五十名近い大調査隊が編成された。この日のために昔あつた大平の山道を復元してくださった関係者のご苦労に頭が下がる。

何百年にわたって広葉樹林の落葉が堆積して作られた天然の貯水層を通して流れ出る清らかな水、その旨さはまさに夢に現れる水以上であり、その水を里に引くために村人が挑んだ水路開削の史跡は、今もなお存在感を失っていない。

「水到りて渠なる」のことわざにならない、地道に水の備えを図りたいものだ。

**飯豊町地域防犯連絡所連絡会会長  
松山清次さん (手ノ子)**

町地域防犯連絡所連絡会会長を務める松山清次さん(手ノ子)が、長年の防犯活動の功績により、県防犯協会連合会防犯功労者表彰を受賞しました。

5月27日、山形市で開かれた同連合会通常総会の席上で、会長の吉村美栄子県知事から松山さんへ表彰状が手渡されました。

松山さんは、平成14年から地域防犯連絡所連絡員を務めているほか、手ノ

**山形県防犯協会連合会  
防犯功労者表彰**

子小校区内での子ども見守り活動を行う祖父母学級会長としても活躍。登下校時の街頭での見守りやパトロール活動など、先頭となって地域の防犯活動にあたっています。「このたびの表彰は、地域の皆さんの協力のおかげであり、代表していただいたものと思っています。これを励みに、地域の安心・安全により一層努めていきたいです」と喜びを語ってくださいました。



表彰状を手にする松山清次さん

**飯豊町衛生組合連合会副会長  
手塚新藏さん (黒沢)**

飯豊町衛生組合連合会副会長を務める手塚新藏さん(黒沢)が、長年の活動が評価され、山形県地区衛生連合会会長より表彰を受けました。

6月17日、南陽市で開かれた同連合会定例総会の席上で、表彰状が手塚さんに授与されました。

手塚さんは、平成7年から地区衛生組合長になられ、その後、町衛生組合連合会理事を歴任。さらに平成17年か

**山形県地区衛生連合会会長表彰**

ら町衛生組合連合会副会長に就任し、現在も不法投棄防止の呼びかけや監視など町の衛生環境の向上に中心となって活躍されています。「このたびの表彰は、地域の皆さんと役員の方々の協力のおかげです。環境問題が重視されている現在、公衆衛生は一層重要な課題になると思います。今後も町のために貢献できるようがんばります」と受賞の感想を語ってくださいました。



表彰状を手にする手塚新藏さん



**◆東北高校選手権男子ソフトボール優勝(全国高校総体出場)**

県立南陽高校・選手出場  
高橋航(3年・黒沢)  
井上和樹(3年・添川)

**◆山形県統計調査員協議会連合会感謝状**

山口健(高峰)、伊藤幸儀(数馬)

**◆西置賜地区小学校陸上競技選手権大会**

- ◇男子ソフトボール投げ  
1位/井上翔(県大会出場)
- ◇男子走り高跳び  
2位/鈴木大地  
3位/舟山響
- ◇男子80mハードル  
2位/青木天翔(県大会出場)

- ◇6年女子100m  
3位/後藤あいり
- ◇5年女子100m  
3位/今野瑞帆
- ◇男子走り幅跳び  
3位/伊藤篤
- ◆西置賜地区中学校総合体育大会**
- ◆団体  
1位/柔道男子(県大会出場)  
2位/野球  
3位/卓球男子、女子バレーボール、ソフトテニス、水泳男子総合
- ◆個人・1位  
○柔道男子  
66kg級/伊藤光希  
81kg級/渡部光  
90kg級/舟山広大(いずれも県大会出場)
- 水泳男子100m平泳  
志田龍星(県大会出場)

- ◇個人・2位  
○柔道男子  
66kg級/舟山祐司  
73kg級/横山大  
90kg級/齋藤広樹
- 水泳男子50m自由形  
志田龍星(県大会出場)
- ◆個人・3位  
○柔道男子・66kg級/渡部拓海  
○卓球女子/船山和、後藤彩(県大会出場)
- ◆町総合体育大会ソフトボール大会**
- ◆男子  
①椿 ②東部 ③手ノ子 ③黒沢  
○最優秀選手/後藤信義(椿)  
○優秀選手/遠藤嘉春(東部)
- ◆女子  
①萩生 ②小白川 ③東部 ③椿  
○最優秀選手/後藤千賀子(萩生)  
○優秀選手/舟山久美子(小白川)

飯豊町役場  
電話 0238-72-2111  
FAX 72-3827  
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp  
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

## 肺炎球菌ワクチン 接種費用を助成します

町では65歳以上の方を対象に肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を助成を行っています。

- ◆対象／65歳以上の町民の方で、初めて肺炎球菌ワクチンを接種する方
- ◆助成額／3,000円（1人1回のみ）
- ◆期間／平成24年3月31日まで
- ◆申請方法／下記まで電話で申し込み
- ※医療機関によって接種料金が異なります。各自で直接希望する医療機関へ確認と予約ください。接種料金から助成額3,000円を差し引いた額が自己負担となります
- ◆申込・問合せ先  
町健康福祉課健康医療室☎86-2338

## 親子で学ぶ環境学習会

親子で環境のこと学んでみませんか。

- ◆日時
- ①長井会場／8月2日(月) 9:00～16:00
- ②米沢会場／8月4日(水) 9:00～16:00
- ◆場所
- ①長井会場／長井市勤労センター
- ②米沢会場／六郷コミュニティセンター
- ◆対象者／置賜地域に住む小・中学生とその保護者など
- ◆定員／50名
- ◆参加費／無料
- ◆内容／CO<sub>2</sub>削減の取り組み、企業・施設の取り組み見学、再生紙づくり
- ◆内容／希望者に昼食を用意します。無料の託児所を準備します
- ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
- ◆申込締切／7月22日(木)
- ◆申込・問合せ先  
置賜総合支庁保健福祉環境部環境課  
☎0238-26-6034

## 「日本語教室」受講生募集

入門レベル・初級レベルを学習内容とする日本語教室を開催します。

- ◆対象者／町内在住の外国人で、4カ月間継続して受講できる方（国籍・母語は問いません）
- ◆受講日程  
9月15日(水)～12月18日(土) 全27回  
毎週水・土曜日（入門レベル・初級レベル・どちらのクラスも）
- ◆受講時間／19:15～21:00
- ◆場所／町民総合センター「あ～す」
- ◆受講料／3,000円（町外者5,000円）  
※ほかに教科書代4,500円程度必要。初回に一括納入のこと。途中でやめても返金はありません
- ◆申込方法／受講申込書に必要事項を記入し、下記の申し込み先まで提出ください（郵送可）
- ◆申込締切／7月31日(土)
- ◆申込・問合せ先  
町民総合センター「あ～す」  
☎72-3111

## 防衛省学生・自衛官募集と 説明会のご案内

- 【募集内容】
- ◆応募資格／平成23年4月1日現在、18歳以上27歳未満の男女
- ◆受付期間／8月1日(日)～9月10日(金)
- ◆採用種目・試験日
- ①一般曹候補生・9月18日(土)
- ②自衛官候補生(男子)・9月18日(土)
- ③自衛官候補生(女子)・9月26日(日)
- 【採用説明会】
- ◆日時／7月24日(土) 10:00～12:00
- ◆場所／町民総合センター「あ～す」
- ◆問合せ先／自衛隊米沢地域事務所  
☎0238-23-0011

## スズメバチなどの 駆除について

スズメバチなど攻撃性の高い蜂が発生する時期となりました。蜂の巣が作られた場合、その建物・土地の所有者または管理者が責任を持って駆除することになります。駆除できない場合は、専門の養蜂家に依頼してください。料金はそれぞれにお問い合わせください。

- ◆町内の養蜂家
- 土屋清蔵さん(萩生) ☎72-2526
- 佐藤利浩さん(手ノ子) ☎75-2218
- ◆問合せ先／役場住民税務課生活環境室☎72-2111内線131

## 健康診査を受けましょう (7月以降の日程)

- ◆健診の内容  
特定健診など、各種がん検診（乳がん・子宮がん以外）、結核検診
- ◆会場と日程
- 西部地区公民館  
7月29日(木)、7月30日(金)
- 中部地区公民館  
8月25日(水)、8月26日(木)、9月1日(水)  
9月2日(木)、9月16日(木)
- 健康福祉センター  
8月11日(水)、8月12日(木)、9月17日(金)  
10月6日(水)、12月4日(土)
- ※12月4日(土)は健診を申し込みしている方で、上記日程で健診を受けられなかった方が対象です。
- ◆受付時間／7:30～9:00  
結核検診のみの受診は7:30～8:00
- ◆その他／○子宮頸がん・乳がん検診については申し込みの方に個人郵送します ○社会保険加入の方は「特定健康診査受診券」を持参ください
- ◆問合せ先  
町健康福祉課健康医療室☎86-2338

こはきのみど  
**戸籍の窓**

(6月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(中 大谷部 春 樹さん 川西町 佐藤 沙 織さん 萩生 堀 之 洋さん 南陽市 井上 直 美さん)	

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
小川 安部 颯 希ちゃん	(宗裕 和夏)	
萩生 松山 菜 奈ちゃん	(亮秋 輔恵)	
黒沢 菅野 千 夏ちゃん	(元純 章子)	
松原 本間 る いちゃん	(邦紀 章子)	
中 山口 瑛 久くん	(晃輝 しのぶ)	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
黒沢 叶内 手塚 雅 子さん	51	
中 北新田 楠 さ たさん	94	
遅谷 伊藤 ミチさん	81	
中 中西 佐藤 甚太郎さん	79	
黒沢 旭 手塚 敏 夫さん	70	
萩生 町上 長谷部 将 康さん	24	
松原 富 永 勝太郎さん	79	
小白川 下野 五十嵐 り うさん	85	

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

**人の動き**

		6月分 ( ) 内は対前月比		
世帯数	2,402 ( 3)	転入	17	
人口	男	3,990 ( -4)	転出	15
	女	4,259 ( 3)	出生	5
計	8,249 ( -1)	死亡	8	

**おすすめ  
夏の楽しいイベント**

**白川ダムSNOWえっく  
フェスティバル**

真夏の雪祭りとして恒例になりました白川ダムSNOWえっくフェスティバルが開催されます。どうぞご家族で遊びに来てください。

◆日時 / 7月24日(土) 14:00~25日(日) 9:00~

◆場所 / 白川ダム湖岸公園

◆内容

- 24日 / 音楽ステージ、大花火大会
- 25日 / 雪上バレーボール大会ほか
- 両日 / 雪と遊ぼうコーナー (おもしろ競技、雪上宝探しなど)

◆問合せ先 / SNOWえっくフェスティバル実行委員会 (中津川地区公民館内) ☎77-2020

**白川ダムからのご案内  
「ダムとのふれあいの日」**

お友達やご家族で、ぜひ白川ダムへ遊びにお越しください。

◆日時 / 7月25日(日) 9:00~15:00 (貯水池巡視体験は14:45まで)

◆会場 / 白川ダム管理支所周辺

◆内容 / 監査廊探検、ダム登山、巡視船による貯水池巡視体験

※天候などにより内容が変更となる場合があります

◆参加費 / 無料

◆問合せ先 / 白川ダム管理支所 ☎75-2131内線260、262

**父子家庭に児童扶養手当が支給されます**

8月1日から父子家庭にも児童扶養手当が支給されます。

◆支給要件 / 次のいずれかに該当する子どもについて、父がその子どもを監護し、かつ生計を同じくしている場合

- 父母が婚姻を解消した子ども
- 母が死亡した子ども
- 母が一定程度の障がいの状態にある子ども
- 母の生死が明らかでない子ども
- その他

※支給要件に当てはまるかどうかは、下記まで相談ください。

◆手当額 / 子どもの数や受給資格者の所得などで決定

◆申請方法 / 申請にあたり、受給資格者と該当する子どもの戸籍謄本、そのほか支給要件により異なる書類が必要ですので、事前に下記まで確認ください

◆その他 / 申請は11月30日まで行ってください。また、8月1日より前でも申請できます

◆申請・問合せ先  
役場教育文化課子育て支援室  
☎72-2111内線167・163

**献血にご協力ください**

◆日時 / 7月21日(水) 15:00~16:00

◆場所 / 健康福祉センター

◆その他 / 献血カードをお持ちの方は持参ください

◆問合せ先  
町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

七月十一日は参議院選挙の投票日です。社会の閉塞感や空き家問題に象徴される地方の課題を打破すべく、皆さんの一票が国を動かします。どうぞお忘れなく、投票所へ足をお運びください。(横山)

増える空き家は、もちろん本町に限った問題ではありません。過疎と少子高齢社会がもたらした全国に顕在する問題です。解決のために、地域の人たちや地方行政が、工夫と知恵を出し合っても限界はあります。抜本的に国が新たな施策を打ち出し、解決のための道筋をつけることはとても重要です。





緑と白をイメージした一角。白色のユリとギボウシなどの大きな緑の葉が清涼感を漂わせる。夏の日差しの下は、特に心地よさを感じさせる。伊藤さんおすすめのスポットでもある



ラムズイヤ。名称の意味は「子羊の耳」。その名のとおり、葉の感触はふくよかで心地いい。植物は見るだけではない楽しさがあることをゆり園は教えてくれる



花と観葉植物の売店ブース。町内の花卉生産者が生産したものがほとんどで、種類は多種多様。充実した品揃えが楽しい。中には園内に植えられている珍しい植物もここで買うことができる



## どんでん平ゆり園

問合せ先 萩生3341番地 TEL78-5587  
<http://www.dondendaira.com>  
 開園時間 9:00~17:00  
 入場料 大人/600円▶団体 540円  
 小中学生/200円▶団体 180円  
 幼児/無料 ※団体15名以上  
 開園期間 7月下旬まで。シーズン後は町民公園として無料開放

## Interview

昨年3月に町から「ゆり園を手伝って欲しい」との依頼をいただき、町の役に立ちたいという思いと、自分の可能性を広げるチャンスと考え引き受けました。

昨年の開園期間中はお客様の声を聞き、お客様の園内での行動などをつぶさに観察しました。お客様が何を楽しみ、何を不満に感じているのかを知りたかったのです。お客様は、ユリ以外の植物にも関心を持たれ、「これは何ていう植物ですか?」と聞かれることもし

ばしばでした。ユリだけに頼らないガーデニングの必要性を感じました。さらに町からは、「長く花を楽しめる公園に」という要望があり、リニューアルは、それらを考慮し計画を練りました。

球根を全国から仕入れ、園内の大半を入れ替えました。一年草・宿根草の植栽を行ったことで、ユリを含む「花の開花リレー」を楽しむことができます。

園内のあちこちに配置した寄せ植えのプランターや立体的な花壇



伊藤 志津可  
Ito Shizuka

いとう・しずか●1981年10月、椿生まれ。00年、東京の造園専門学校で造園の基礎を学ぶ。卒業後は、都内の造園会社に就職。大使館の庭園のメンテナンスなどを手がける。05年、飯豊町に帰郷し実家の造園会社に就職。09年4月よりどんでん平ゆり園の造園を手がける。好きな植物はエゴノキ、タチアオイ。町の「にぎわい再現プロジェクト委員」も務める。椿在住

の演出なども見ていただきたいです。見て、香って、触れて、育てると、花と植物の楽しみをたくさん知ってもらえれば幸せです。

園内の植物のほとんどは、めざみの里花卉生産者組合（井上俊幸組合長）の皆さんの生産によるものです。町内には、全国的に活躍されている花卉生産者がたくさんいらっしゃいます。花売店には珍しい花苗がそろっていますので、ぜひ見ていただきたいです。

また、ゆり園のスタッフには、年末までかけて、寒さで身を震わせながら膨大な数の球根植えに、尽力をいただきました。共に「園作り」をしてきた多くの皆さんに

は、感謝の気持ちでいっぱいです。

さらに、樹木医の塚本こなみ先生には親身になって貴重なアドバイスをいただきました。とても光栄であり、ありがたいことでした。

園内には、いろんな宿根草を植えています。根付き、広がっていくことを期待したもののばかりです。ゆり園もまた、地域に根ざし、全国にその名が広がるように、がんばりたいです。時間は要しますが、花公園としての魅力を少しずつ高めていきたいと考えています。

新しくなったゆり園のご来園を心からお待ちしています。そして率直な感想を、私たちにお聞かせください。

# どんでん平ゆり園

IIDE DONDENDAIRA  
LILY GARDEN



## 新しいガーデン・スタイル 花や植物の楽しみを 訪れる人たちに伝えたい

6月5日にオープンしたどんでん平ゆり園は、満開の時期を迎える。

園内のレイアウトを全面的に見直し、模様替えを図った。

その計画と実行の中心となったのが、29歳の女性造園家・伊藤志津可さん(椿)。

若い感覚と女性らしい演出で

ゆり園に新しいスタイルを提案する。



### リニューアルとボリュームアップ

ユリは、白・黄色・桃色を基調にさわやかな配色とした。オレンジや赤などの原色のユリは、夏日に園内を歩くお客様にどうしても暑苦しさを感ぜさせてしまうからだ。その一方で、「ゆりの花里」と名づけた最高位約2メートルの“ユリの山”を作り、ボリューム感をアップ。見ごたえの演出も忘れない。

植栽面積も広がり、アジサイとユリのタイアップが楽しめる「ゆりの丘」が今

年度より完成した。

多くの方が長期間にユリを楽しめるように、早咲き・中咲き・遅咲きのユリを組み合わせで植栽。

また、50種類以上の花や一年草、宿根草も植えられ、ユリ最盛期前後に訪れる人たちは、その時の花と植物を楽しむことができる。

ゆり園は、より長く楽しめる花公園に生まれ変わったのだ。

【入選作品】



# 里山のまつり

(撮影場所／中地内)

写真は、平成20年度に開催されました「未来につなぐいいでフォトコンテスト」で入賞された作品です。

## 撮影者

### 沼沢士郎さん (山形市)

このたびフォトコンテストに「入選」し、大変うれしく幸せな気分です。深く感謝申し上げます。

飯豊の豊かな自然の中で、歴史を感じさせる八幡神社例祭の雨上がりのひとコマを撮りました。

まだ写真歴3年ですが、今後の励みとなりました。またさらに良い作品を目指して頑張りたいと思います。ありがとうございました。

## 写真家 佐藤秀明先生の講評

さわだって素晴らしいという写真ではありませんが、作者の人柄でしょうか、とても好感の持てる作品です。祭りを楽しんでいる様子も見えます。あいにく天気には恵まれませんが、次回も挑戦してください。

